

参加無料

明日のビルメンテナンスを考える 対話の会 (中国地区)

平成30年 **9月18日** 火
14:00～17:20

会場: 広島県立総合体育館 大会議室
(広島市中区基町4-1)

対象: 会員企業経営者・経営幹部

定員: ①第二部<対話>参加者: 約5名
②一般聴講者: 約50名

参加費: 無料 (*第三部<意見交換会>は有料)

主催: 公益社団法人全国ビルメンテナンス協会
中国地区本部 / 事業開発委員会 / 新BMサービス開発WG

ビルメン産業の誕生から半世紀以上が経過し、そのライフサイクルが「成熟期の終わり」から「衰退期」へと移行する昨今、先行きの不透明感や行き詰まり感を訴える声が聞かれます。

全国協会では、こうした閉塞的状況を打破し、本産業の新たな未来を切り開くべく「ビルメンテナンス・サービスの新しい仕組みの開発・推進」に取り組んでいます。

業界としての「未来への意志(ビジョン)」は、多くの会員の理解や協力を得ながら、最終的に実効性のある具体的施策へと落とし込まれていく必要があります。

ビルメンの未来に危機意識を有する経営者の方々との率直な対話を通じて、現状の正確な理解と、企業が取り組むべき本質的課題を共有することを志向し、全国キャラバン「明日のビルメンテナンスを考える対話の会」を実施します。

プログラム

1 第一部<提言> (60分)

1. 本キャラバンの趣旨説明

ビルメン企業が直面する問題の整理 / 対処療法的施策と原因療法的施策 / 本キャラバンで実現したいこと

2. 諸問題のベースにある本質的な原因(真因)と解決の方向性

経営における「問題」の捉え方 / 因果関係分析による原因(真因)の特定と解決の方向性

3. 【会員×全国協会】協働プロジェクトによる問題解決のビジョン

会員・全国協会両者それぞれの課題設定 / 本取り組みの延長線上にある全国協会の事業構想(戦略)

2 第二部<対話> (60分)

第一部<提言>を受け、ご参加の皆さまと、提案者を含む全国協会メンバーとの対話を通じ、ビルメン業界の現状の正確な理解と、企業が取り組むべき本質的課題の共有など、相互認識を深めます。

*全国協会(事業開発委員会、新BMサービス開発WG)参加メンバー

委員長 金子 誠(全国協会理事、福岡県協会会長)

WG委員 杉川 聡(広島協会会長)

WG座長 大竹清治(全国協会理事、千葉県協会会長)

WG委員 堀内孝仁(ビジネス・コンサルタント)

WG副座長 興膳慶三(全国協会顧問)

オプション
プログラム

第三部<意見交換会> (60分、参加費 3,000円、軽食付)

明日のビルメンテナンスを考える意見交換の場を用意いたしました。ぜひご参加ください。(参加自由)

【キャラバン参加のお申し込み先】

(公社)全国ビルメンテナンス協会 中国地区本部 広島市西区己斐本町2-19-3 広島ビルメンテナンス会館 TEL: 082-273-8275

【キャラバン内容のお問い合わせ先】

(公社)全国ビルメンテナンス協会 事業開発部 東京都荒川区西日暮里5-12-5 ビルメンテナンス会館5F TEL: 03-3805-7560




THINK about
BUILDING MAINTENANCE

ちょっと立ち止まって、考えてみましょう

BIG WHY

清掃が、なくなる?!

ビルメンテナンス(企業+業界)が今、
直面している問題ってナニ?!

1

従来型ビルメンテナンス業の老化が進行中?!

- ・ビルメンテナンスの業務価値がコモディティ化
- ・ビルメンテナンス技術が高度化&円熟化し、サービスに差がない

同レベルサービスが蔓延 = 価格のみの競争が激化

2

次世代テクノロジー時代に従来型ビルメンテナンス業は機能不全?!

- ・IoTとAI技術がすべての社会インフラ(不動産・建物・交通 etc)を再編集している中で、従来型ビルメンテナンス業務は役割と能力が不明確
- ・社会的課題を解決する他業種企業が、ビルメンテナンス業務をまるごと変革支配してしまう兆候も

従来ビルメンテナンス業務+ビル管理代行業だけ
= 他業種による代替リスクが高まる

3

避けられない労働力不足 = 労働集約型ビルメンテナンス業は破綻する?!

- ・他産業に比べて未だに低い「労働環境×報酬×3K」イメージ
- ・労働力の奪い合いの中で、魅力的なビジネスイメージの乏しい従来型ビルメンテナンス業に人材は集まらない

「人手不足倒産」時代が始まる

DNP 使用欄

 ネーム校了紙
 体裁校了紙
 色調校了紙
 色見本
 ※

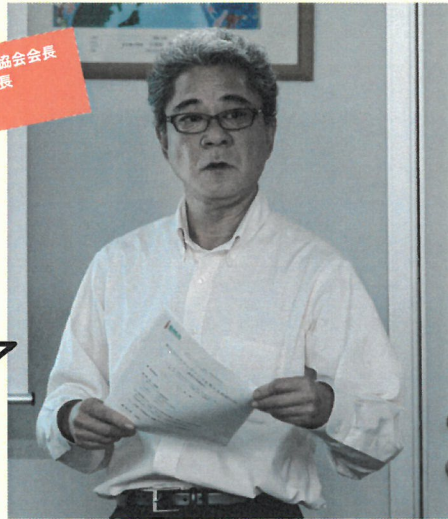

明日のビルメンテナンスの行方は？ 答えは見つかるのか?!



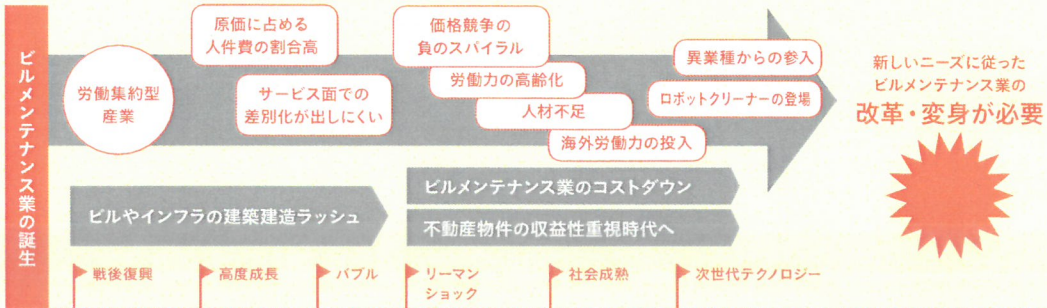
現在の危機的な状況にあって、
全てのBM企業が助かるのは
まず不可能である

企業自身が本気で
変わっていききたいという状況
を作れるかどうかのポイント

全国協会理事 千葉県協会会長
ワーキンググループ座長
大竹清治氏



ビルメンテナンス業 環境の変化と影響



つまり

ビルメンテナンス業が日本に誕生して半世紀以上が経過。日本社会と経済が高度成長期、バブル期、成熟期を経る中で、



Question 1

従来型のビルメンテナンス業は
衰退期(=役割の終焉)に
向かっているのでは?!

Question 2

従来型ビルメンテナンス業は
果たしてこのままで
生き残ることは可能なの?!

その答を見つける方法を、全国ビルメンテナンス協会は「明日のビルメンテナンスを考える対話の会」で会員の皆様と共有したいのです!



DNP 使用機
ネーム板子紙
体裁校了紙
色調校了紙
色見本 ※



清掃業務自体が、
新たな価値を持った産業に
代替されるリスクがある

全国協会理事 福岡県協会会長
事業開発委員会委員長
金子誠氏

我々BMの仕事が
なくなっていくという危機感を
持たなくてはならない



BMで働く人たちに対して、
物心両面で訴求力を
上げなければならない



ビジネス・コンサルタント
ワーキンググループ委員
堀内孝仁氏

キャラバンに向けた話し合いで
問題が整理され、
自社に何が欠けていたかわかった



広島協会会長
ワーキンググループ委員
杉川聡氏

極論すれば、
広島協会だけでも努力して、
生き残ってこうと話している

この10年くらいで労働人口は
820万人ほど減っており、
今後ますます減っていく



DNP 使用機
ネーム控了紙 体裁校了紙 色調校了紙 色見本 ※

